

# 「みんなの心にワクチンを」

思いやりを失わないように

ワクチン接種は始まったものの、変異株の感染拡大など先の見えない状況に、不安な日々を過ごされている方も多いことでしょう。

今必要なのは、コロナを防ぐワクチンと一人ひとりが正しい知識を持ち、正しい行動をとること。それが感染拡大防止に一番効果的な「心のワクチン」です。様々な情報が錯綜する今日、感染症の基本的な知識を身につけて、日常生活を安心・安全に過ごしてもらいたい、不安による偏見や差別をなくしたいと願い、親切運動では「心のワクチン」運動をスタートしました。

## 一人ひとりの知識と思いやりで差別や偏見のない社会に

昨年度の「小さな親切」作文コンクールには、コロナ禍の親切をテーマにしたものが多く寄せられました。入手困難になったマスクを手作りしたり、医療現場で働く両親のため、毎日お弁当を作ってあげたりと、日常が様変わりする中、自分のできる親切を実行する前向きな子どもたちの姿に、たくさんの方の勇気と感動をもらいました。

一方、作文の中には、マスクを着けていなかったため、スーパーに入らず困っているおじいさんを見て見ぬふりする人々、赤ちゃんが落としたおもちゃを拾ってあげた中学生に、お礼も言わず立ち去る母親など、心に余裕を失った大人たちの姿も登場します。

先の見えない状況に、みんなが疲弊しているとはいえ、感謝や思いやりを忘れた大人たちの姿は、子どもたちの心をどれほど傷つけたことでしょうか。

人との関わりが制限され、これまでどおりの親切がにくい場面もあるでしょう。しかし、このような時だからこそ、困っている人がいたら声をかけること、誰かが勇気を出してした親切を感謝をもって受け取ることが忘れてはならないと感じています。

そこで、親切運動では、不安をおおるような情報に振り回されることなく、誰もが安心して思いやりのある行動がとれるようになるには、一人ひとりが感染症の基本的な知識を持つことが最も重要と考え、「心のワクチン」運動として感染症や感染対策についての情報発信をスタートしました。

3月5日(金)には、本誌・新春号でインタビューを行った和田耕治先生(国際医療福祉大学教授)が技術アドバイザーを務める、「(社)感染症対策コミュニケーションラボ(代表:田崎陽典)」と共催で、オンラインセミナー「みんなの心にワクチンを」を開催。参加者のご寄附で、小学生向けの教育プログラムを作成しました。

感染症を恐れるあまり、コロナ陽性者や医療従事者などへの偏見、誹謗中傷といった悲しい問題も起きています。また、正しい知識がないために、感染を広げてしまうこともあるようです。今後も、セミナーの開催や教育プログラムによって、知識を深めてもらい、差別や偏見のない温かな社会づくりを目指します。

今後のセミナーの開催情報などは、本誌やWebサイトなどで随時お知らせいたします。皆様も「心のワクチン」運動に参加してみてください。

4人以内での会食はOKで、なんで5人はだめなの…

飲食店などの仕切り板の高さは、何センチ…

清掃活動での「ドブさらい」、感染のリスクは…

記念写真を撮影するときだけ、マスクを外してもOK…

### セミナー参加費で教育プログラムを作成

子どもたちにコロナ差別や偏見、新しい生活様式について考えてもらうため、道徳や特別活動で活用できる小学生向け教育プログラムを作成しました。コロナ禍の親切をテーマにした、昨年度の作文コンクール入賞作品をもとにしていますので、子どもたちに身近で共感しやすいプログラムです。

セミナー参加費は500円から。参加費は、今後も教育プログラムの作成など「心のワクチン」運動に充てられます。



運動本部・山橋専務理事(左)がMCに挑戦  
和田先生(右)にインタビュー

当日のセミナーの様子や裏話などは、Webサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください!



3月5日金に開催した「オンラインセミナー  
「みんなの心にワクチンを」では、  
和田耕治先生に感染対策についての  
様々な質問に答えていただきました。



## 飲食店などの仕切り板の高さは、 何センチ？

**A** 仕切り板の目的は、飛沫感染を防ぐこと。話をする場や食事をする場に置くのは、感染対策としてよいと思います。高すぎても安定性が悪いので、座って食事をする場合、顔の高さよりも高くなる70センチを目安にしている飲食店やオフィスが多いように思います。アクリル、ビニール、段ボールなど材質による効果の違いはありませんが、ビニールは燃えやすいので注意してください。

## 4人以内での会食はOKで、 なんで5人はだめなの？

**A** 日常生活の中で感染するリスクが高いのは、欠かすに会う友達、親戚といった関係性の人たちとの長時間の会食の場です。人数については、なかなか根拠は難しいのですが、5人以上の会食になると、離れている人に向かって話すときに声が大きくなり、飛沫感染のリスクが上がりますので、4人以内といった小規模なグループにすべきということです。

しかし、できれば今は、人数に関わらず会食自体を控えていただくのが安全だと思います。一人でも感染者がいた場合には、4人全員感染するということもありえることです。

## 質問募集

### 感染対策これで あってる？

家庭や職場、学校、お店やイベントなどでの感染対策について、相談したいことはありませんか？ いただいた質問は、今後のセミナーや、本誌、親切運動のWebサイトなどで専門家の先生に答えていただく予定です。ぜひ、下記までお寄せください。

「心のワクチン」運動  
【質問募集・各種お問い合わせ】

E-mail : skm1963@kindness.jp

#### ■和田耕治

【国際医療福祉大学 医学部 公衆衛生学教授】

政府の新型コロナ対策に助言を行うとともに、文部科学省、経済産業省、高等裁判所、内閣官房のガイドラインづくりにも携わる。新型コロナウイルスに関して、テレビや雑誌などへの出演も多数。

## 記念写真を撮影するときだけ、 マスクを外してもOK？

**A** 基本的にいわれる飛沫というのは、呼吸だけではなくほとんど出ません。ですから、並ぶときにはマスクをしてもらい、撮影するときに「ここからは話をしないでください」と説明して、それが守られていればマスクを外しても問題ないのではないかと思います。

撮影をするスタッフが、そうしたことをきちんと把握して誘導することが大切です。

## 清掃活動での「ドブさらい」、 感染のリスクは？

**A** 側溝に溜まった汚泥にコロナウイルスが潜んでいる可能性は極めて低いですが、コロナ以外にも世の中にはいろいろな病気がありますので、細菌がたくさんいるドブをさらう時はマスクと手袋(軍手)を着用し、終わった後はしっかりと手を洗ってください。